令和2年(2020年)

史

伝 地

第6回伊平屋村伝統文化学習発表会 ~主催:伊平屋村教育委員会~

上係と 果時う 魅表ま方が化さるな 文 学日 げ者が年たに機小了やり言あ継つ児さ島化出一一平 ま `で間し `会学し物 `にり承で童れ尻学演年に成 す地きをて地を校ま作五よまへは生 `区習者生 、二 域た通い域も `しり集るしの `徒伝ののはかお十

ののしまとつ中た・落司た期地へ統伝講 `ら弁四 方もたす児こ学[°]玩の会[°]待域の芸統師村中当年 々`取 童と校 の出組 は時 生`代 ご演、 尽者そ 徒社に `会 ` 力をし のはて 地性地 賜じ 域を域 と育の 物め発

で `表 学て方 す裏会 校る々 °方が を大と 心で成 結きと よ支功 ぶなも りえ裏 重礎に 感てに 要と学 謝頂終 をいえ 申たる 割とれ

具児進野とを激能文の内学の度 づ童行甫役活励保化管の三日か・愛たや 紹よ、、導素ば長師す 介る民髙に材を、、 は踊俗田あ `頂西野 `り芸春た人き江甫 参や能華る材 `喜英 観棒保さ講の伊進芳 し術存ん師活礼様様 た `会 `へ用幸かか 多エの玉のに雄らら くイ幕城感よ村は開 ななび のサ開愛謝る長方会 役るふ 観 | けさの伝の言宣 `ま内学

第6日伝統文化学習発表会

く生の中割かの存学様小年一ら交着だ芸村る々当教村興令 り徒も二、しこ会習方中生と毎流のき能の盛が日育伝総和 のにと年指たと会講で学まセ月の醸、を古況詰は委統合二 す。生でッ第と成次、くとめ、員文セ年 及をト三かを世地かなか百会化ンニ 生を世地からりました。 一学習 とを世地がらいりました。 一学習 とを世地がらいりました。 一学習 とを世地がらいい。 が必要では、 が必要では、 が必要である。 が必要である。 をはました。 ものた。 氏にん. 俗実しのたとしの数 ニーニャとしの数 芸施で『もとしの叙能しお伝の地』を 立保催()、 保てり統で域島々く 存お、文寸人へにの 会り村化~材の教伝 の誇え統 ま地し伊回村 伝すの習 活りて工 で域た平伊離 統。小の 用とい芸 出の。屋平島

統 域 化 材 を を 活 び カン 継 た 教 承 もの開ニて、 育 活 ち護さ主

一伊 動 見者れ催第平 、ま・・六屋 (

プログラム

客のにん言統あに言

を発始の葉文いよが

幕開け (伊平屋村民俗芸能保存会)

開会のことば

し関こ

2

島尻区講師 上り口説 我喜屋

こ才踊り 3 田名

を同あ

激励の言葉 芸能保存会会長

安波節・安里屋ユンタ 三線教室

物作り教室・玩具作り教室の紹介 7 伊礼村長

来賓あいさつ

棒術・黒島口説 島尻

鏡石太鼓 前泊 9

10 棒術 野甫

前泊エイサー 前泊 11

ハンタ毛節 12 野宙

鳩間節 我喜屋 13

独唱 前泊

譜久村玲緒奈

加那よー天川 15 島尻

南洋千鳥 田名 16 講評 教育長 17

閉会のことば 教育課長 18

司会 野甫中学校2年 髙田春華さん, 玉城愛さん





上り口説(我喜屋)





棒術(野甫)



開会のことば(野甫氏)



来賓あいさつ(村長)

















伝

習

発

表

会

観

感

想

0

抜

粋



うレ°が師は応が春しを唱もこき学く なべご今の力え上をて追は達のが校 様ル苦以皆ながが目いい歌によ有生思 子が労上様り有っ指まか声身うり徒い が高様に方」。りてししけもにに、の出 伝くで連にと「いてた、音付大ス司多わ、し携改いスて頑。一色け舞ム会き わ、し携改とスて頑。一色け舞ム会きり展たしめいゴ、張こつもて台ー進我ま示。、てライ以っれの良欲でズ行がま し作 さご言!前てか芸くし話では子 ら苦葉」は欲らに、いす聞初の た品 °は な労通で「しも真素で力きめ最 る様りす可い芸剣晴す、取て後 ユ 技と素。愛でににら 。表りのの を申晴 らす磨向し 現や試発 研しら °ききか ク すすみ表 を合っ な き上し るいに会 研げい かうた 力アもで Ł 鑽た発 をナ関し \mathcal{O} で け姿で が にい表 多ウわた 勤で会 多 た 第 くンら

めすで

てっし

が

二観地

の客域

のスず

島で、



展示発表



展示発表





独唱(前泊:譜久村玲緒奈)

